

会員の声

「あっ、北斗七星がない！月がない！」
(天文教育 2002 年 9 月号 87 ページ)

このような小学校の先生がいることは確かでしょう。しかしほとんど全員が、このような状態でないことも確かです。いいわけになるでしょうが、私は、天文や理科関係でこのような失敗はあまりないと思っています。でも、音楽、家庭図工、体育などでは、同じような失敗をしているのではないかと、いつも注意を払っています。全教科、すべてをマスターするのはたいへん難しいですね。それが、仕事だと言われればそれまでですが……。

数年前、私は公開天文台に出向していました。そのときに、小学校の先生対象に研修会を行ってきました。でも、本当に苦手な先生は参加をしてくれないのですね。

このような先生のことを、批判するのは簡単なのですね。でも、どのようにした良いかを考えてほしいのです。みなさんは、どのような意見を持たれていますか？ 天文が苦手な先生、特に研修会も参加しない先生に対して、どのような実践例がありますか？ 無理矢理に強制研修させることも可能ですが、興味を持って研修会に参加してもらいたいですね。このような先生が一人もいなくなる方法、実践例を紹介してください。佐藤健さんはどのようにされていますか？ 是非、実践例を報告してください。よろしく願います。

(編集部から)

編集部では、会員のみなさまのご意見をお待ちしております。

西村一洋